

世の中に内視鏡外科手術が導入され、間もなく 20 年を迎えようとしている。この間に、内視鏡外科手術は、消化器外科領域をはじめ呼吸器、婦人科、泌尿器科領域において良性疾患はもちろん、悪性疾患に対しても急速に普及を遂げ、社会やマスコミから善きも悪きもこの手術は常にクローズアップされてきた。このような発展期に、わが国の内視鏡外科の進歩に大きくかかわった 2 つの出来事を紹介したい。

一つ目は、昨年 9 月 2 日から 4 日間にわたって横浜にて、本学会が中心となって「第 11 回世界内視鏡外科学会」を開催できたことである。黎明期の 1994 年、出月康夫会長のもと京都で開催して以来 14 年ぶりのことである。今回は、内視鏡外科の急成長後の大会として、世界 74 カ国 1 地域から 3,500 名を超える医師をはじめとして、メディカルスタッフ、多くの企業が参加し、熱気あふれる盛況な国際学術会議となった。5 つの特別企画は、これからの光学機器としての 3D 内視鏡、開発途上の新しい手術機器の披露、卓越した手術手技、世界の治療成績と学術的エビデンス、内視鏡外科に関する教育と、現時代に則したテーマが取り上げられた。おかげをもってシンポジウム、ワークショップ、一般演題を含めたすべての会場では、連日どこも白熱した議論が交わされていた。また opening ceremony では、皇太子殿下の御臨席のもと、内閣府特命大臣をはじめとする要人もご出席され、厳かかつ盛大に執り行われた。今回のこの世界大会の成功は、ひとえに北島政樹理事長をはじめとする組織委員の先生方のご指導と本学会会員の皆様方のご支援、ご協力の賜に尽きると言えよう。

二つ目は、内視鏡外科手術のエビデンスの確立として、厚生省研究班「進行大腸癌に対するランダム化比較試験」の順調な進捗を紹介したい。薬物、手術療法を問わず標準治療の確立には臨床試験、特に第 III 相試験の実施が重要である。しかし、わが国では海外より常に遅れを取っており、医療情勢や医療技術の異なる海外のデータを外挿することがしばしばである。手術療法の RCT は、わが国では特に IC 取得が困難と考えられており、臨床試験の計画段階で、多くの臨床試験の専門家から厳しいご意見をいただいていた。そのような中で、この班を構成するわが国の内視鏡外科先進 27 施設のメンバーは、優れた技術と確固たる rationale を持ち、数々の障害を乗り越えるだけの熱意を持ち続け、4 年余りで登録目標の 1,050 例に間もなく到達しようとしている。もちろんこの分野では海外でも類のない最多の症例数である。このわが国の第 III 相試験の結果が、世界の内視鏡外科に与える影響は限りなく大きいと思われる。

2009 年最初の発行号として、内視鏡外科に関する 2 つの出来事を紹介させていただいた。今年も、本学会会員が内視鏡外科の分野で世界のリーダーの役割を果たし、さらに飛躍していくことを期待したい。

(北野正剛)

日本内視鏡外科学会雑誌

(第 14 巻 第 1 号) 2009 年 2 月 15 日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1 部定価：会員には毎号送付されます。その他については、1 部定価 2,940 円 (本体 2,800 円 + 税 5%) となります。

2009 年 年ぎめ予約購読料：17,160 円 (税込) (配送料：医学書院負担)

編集・発行：日本内視鏡外科学会 (代表：北島政樹)

〒162-0802 東京都新宿区改代町 26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構内

(☎ 03-5206-6007 Fax 03-5206-6008 担当：佐々木) <http://www.jses.org>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 26-1-B03 Kaidaicho Shinjuku-ku, Tokyo, 162-0802, Japan

©2009, Printed in Japan

発 売：株医学書院 (代表：金原 優) (本誌担当：阿部、田村、中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jses/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷株 ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (南文京メディカル ☎ 03-3817-8036 (Fax 03-3817-8044))

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

生体腎移植における後腹膜鏡下ドナー腎摘出術

- | | | |
|---------------------------------|--------|---------------|
| —術式のポイント…………… | 尾本和也・他 | 東京女子医科大学泌尿器科 |
| 生体腎移植における用手補助後腹膜腔鏡下ドナー腎摘除術…………… | 市丸直嗣・他 | 大阪大学大学院器官制御外科 |
| 生体肝移植における内視鏡補助下肝切除術…………… | 若林 剛・他 | 岩手医科大学外科 |
| 生体肝移植における腹腔鏡補助下ドナー肝切除 | | |
| —葉切除の理論と手技…………… | 黒崎 功・他 | 新潟大学大学院一般外科 |

●原著

医療経済からみた腹腔鏡下胆嚢摘出術に対するクリップ法と

- | | | |
|----------------------------|--------|----------------|
| 結紮法の 2 群間比較…………… | 大平周作・他 | 半田市立半田病院外科 |
| 開腹既往例に対する腹腔鏡下大腸切除術の検討…………… | 坂本英至・他 | 名古屋第 2 赤十字病院外科 |
| 経済性と安全性を考慮した小児腹腔鏡下手術 | | |
| におけるトロッカー挿入…………… | 浅桐公男・他 | 久留米大学小児外科 |

他に「症例報告」「手術手技」「私の工夫」を掲載予定